

資料提供	
平成25年3月27日	
担当 (担当者)	県立図書館 網浜
電話	0857-26-8155

4月7日の放哉忌を前に、尾崎放哉資料展及び講演会を開催します

尾崎放哉（おさき ほうさい 1885～1926）は鳥取市出身の季語や形にとらわれない自由律俳句の俳人です。鳥取一中、一高、帝大とエリートコースを歩みながらも、人生の後半は家族や仕事を捨てて放浪の旅に出、大正15年（1926）4月7日、小豆島で41歳の生涯を終えました。

放哉はその短い生涯の間にも多くの作品を発表しました。代表的な句に「咳をしても一人」「入れものが無い両手で受ける」「春の山のうしろから烟りが出だした」等があります。

このたび、放哉句を書いた書作品を尾崎放哉の写真パネル等とともに展示し、あわせて放哉とその作品についての講演会を開催します。

なお、放哉の生涯、業績を分かりやすく紹介したブックレット（1部500円）の販売を始めましたので、併せてお知らせします。

記

- 1 展示会名 「書作品で味わう“放哉の句”」
- 2 会期 平成25年3月15日（金）から5月15日（水）まで
 - ・会期中3月31日（日）、4月11日（木）、30日（火）、5月9日（木）は休館日
 - ・開館時間 火から金曜日まで 午前9時から午後6時30分まで（3月、4月）
午前9時から午後7時まで（5月）
土・日・月曜日、祝日 午前9時から午後5時まで
- 3 会場 鳥取県立図書館 2階 特別資料展示室
- 4 展示内容
 - ・放哉紹介パネル、年譜等 約10点
 - ・放哉句の書作品 11点（柴山抱海氏、稲垣晴雲氏、住川英明氏ほか）
- 5 講演会

演題「自由律俳人・尾崎放哉に親しむ」（仮）

日時：平成25年4月6日（土）午後1時30分から3時まで

会場：鳥取県立図書館 2階 大研修室

講師：小山貴子（こやま たかこ）氏